

同一の保健師・助産師が妊娠期から子育て期までサポートします！
『母子健康包括支援センター』を保健センター内に開設しました

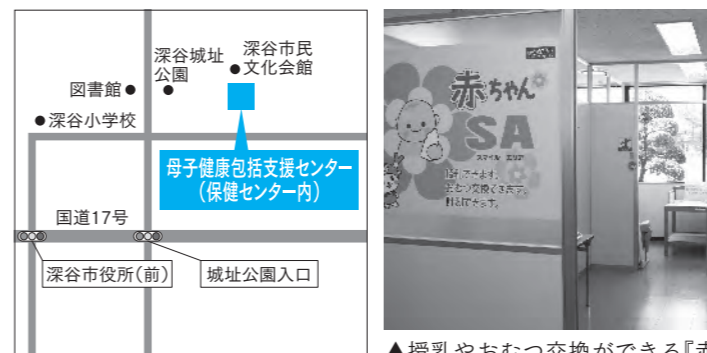
問い合わせ 保健センター (575-1101)

7月から、妊娠期から子育て期の保護者への相談支援を行う『母子健康包括支援センター』を、保健センター内に開設しました。母子健康包括支援センターでは、母子健康手帳の交付、妊娠・

出産・育児などに関する情報提供と支援プランの作成、妊娠8カ月頃の電話相談支援、妊産婦・新生児訪問を行い、原則、その全てを、同一の職員が対応します。



▲母子健康包括支援センター内の相談スペース。乳幼児がいても安心して、ゆっくり話をすることができます。



▲授乳やおむつ交換ができる『赤ちゃんSA(スマイルエリア)』。身長・体重測定も自由にできます。

例えばこんなこと

ありませんか？



赤ちゃんが上手におっぱいを飲んでくれない…

出産後、なんだか気分が沈みがちに…



夜になると赤ちゃんが泣きだしてどうしたらいいのか…



妊娠期から子育て期まで切れ目なくサポート！
困ったらまず相談！！
深谷市母子健康包括支援センター
☎575 - 1101 (保健センターと共通)
✉boshi@city.fukaya.saitama.jp
【開所時間】平日の午前8時30分～午後5時15分



子育ては思い通りにいくとは限り、悩んだり、不安になることもあります。妊娠や出産、育児について心配ごとや困ったことがあっても、ぜひひとりで悩まず、まずはお気軽に母子健康包括支援センターへご相談ください。

ふっかちゃん関連商品売り上げ約49億！

問い合わせ 協働推進課 (574-6658)

市イメージキャラクター『ふっかちゃん』のデザインを使用し、関連商品を販売している377事業者を対象に、平成28年度中の売上額調査を実施した結果、7月18日までに回答があった事業者の売上額合計が、49億円を超えました(回答率は約63%)。また、売上額調査に合わせて『深

谷市ふっかちゃん子ども福祉基金』への寄附の協力をお願いしたところ、約164万円の寄附をいただきました。ふっかちゃんの活躍は、大きな経済効果や福祉の充実など、さまざまな面で良い影響を与えています。



住宅用火災警報器設置は『義務』です！

問い合わせ 予防課 (571-0913)

深谷市消防本部管内では、条例で全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。5月に行った調査では、設置率が73・6%で、設置していない住宅が約3割あることがわかりました。住宅用火災警報器は、火災時の逃げ遅れを防ぎ、命を守るためのものです。未設置の住宅には、すぐに設置してください。

また、住宅用火災警報器本体の交換時期の目安はおおむね10年です。設置後には、定期的に動作確認をしましょう。
設置しなければならぬ場所
・寝室および2階以上に寝室のある住宅の階段
・1階に4畳半以上の居室から部屋以上ある住宅の廊下

深谷のいいものを体験『深谷〇旅』

問い合わせ 商工振興課 (577-3409)

深谷の特色や、お店の魅力を生かした体験イベントが76プログラム勢ぞろいする『深谷〇旅』を開催します。今年も、老舗の裏側を見学したり、職人の技を体験するなど、工夫を凝らした企画で、皆さんをおもてなしします。詳しくは、深谷〇旅ガイドブックや市ホームページ(☎『深谷〇旅』で検索)をご覧ください。なお、ガイドブックは8月中旬から商工振興課・市役所本庁舎総

合案内・公民館などで配布します。
開催期間 9月16日(土)～11月30日(木)
予約受付 9月1日(金)～
※プログラムごとに予約先が異なりますので、ガイドブックなどでご確認ください。



▲第5回深谷〇旅ガイドブック表紙

体験イベントの一部をご紹介します！



和菓子づくりや豆腐づくりなど、食を楽しむ体験



フラワーアレンジメントや陶芸など、技術を学ぶ体験



商店街ツアーなど、深谷の魅力に触れる体験

新たに始まる制度・事業や、生活に身近な話題などをお知らせします

「コミュニティ診断ワークショップ『ふっかトーク』」で地域の魅力や課題を意見交換
 問い合わせ 2017 深谷市市民討議会実行委員会事務局・富田さん ☎080-5647-9193

市民主体で設立された「2017 深谷市市民討議会実行委員会」が、より良い深谷市のまちづくりについて、市民同士で考え、話し合う『市民討議会』を、9月に開催します。それに先立ち、普段生活している地域をテーマに、地域の魅力や課題を話し合う「コミュニティ診断ワークショップ『ふっかトーク』」が開催され、市民75人が参加しました。

参加者は、自分の住む地域ごとに5〜6人の班に分かれて、活発な意見交換を行いました。出された意見を基に、市民討議会ではさらに議論を深めていきます。

6月17日・埼玉グランドホテル深谷『ふっかトーク!』開催!



暑い日差しに負けず、どの班の議論も熱かったよお〜!!

▲屋外の開放的な雰囲気の中で、話も弾みました。



▲各グループでは活発な意見交換が行われました。

『中の家』西側施設利用事業者募集
 問い合わせ 文化振興課 ☎577-4501

旧渋沢邸『中の家』西側施設を活用し、地域の活性化や市の発展などにつながる事業運営を行う民間事業者などを、公募型「ポータル方式」で広く募集します。

対象 個人・法人・その他の団体・複数の法人などが共同する事業体

募集要項 10月31日(火)まで問い合わせ

わせ先で配布(市ホームページでも入手可能)

募集期間 11月10日(金)〜30日(木)

※詳しくはお問い合わせください。



▲『中の家』西側施設(寮棟)

集えー若手経営者『渋澤未来塾』開講

問い合わせ 商工振興課 ☎577-3409



▲会場となる『中の家』の部屋

『渋澤未来塾』は、渋沢栄一翁が大切にされた『論語と算盤』の精神の下、市内の若手経営者が本音で議論する場です。渋沢栄一翁が寝泊まりした部屋を会場に、月1回程度、参加者による話し合いや、講話を行います。現在、受講生を募集中です。

対象 市内在住・在勤で50歳以下の若手経営者など

とき 開講日=8月23日(水)午後6時30分〜(月1回開催予定)

ところ 旧渋沢邸『中の家』

定員 先着20人

申し込み 問い合わせ先へ

市長の深い話

深谷市長 小島 進



『地域を良くしたい』その実現のために

市では、平成26年度に協働推進部を設置し、行政課題の解決に向けて、さまざまな協働の取り組みを行っています。

協働の取り組みにおいて、『行政の課題を解決していく』ということは大切なことですが、皆さんが『地域を良くしたい』という思いで実施する事業や活動を行政がサポートすることも、とても重要なことです。

そのため市では、市民活動サポートセンターの設置や、事業資金をインターネット上で募る『クラウドファンディング』への支援など、地域を良くするための事業

や活動をサポートする環境を整えました。ぜひ、活用ください。

また、自治会訪問などで皆さんとじかにお話しをしていて常々感じることは、深谷には『地域を良くしたい』という熱い思いを持った方が、本当にたくさんいらっしゃるということです。

そこで、市民や深谷に関わる人たちが一緒にまちづくりに取り組める場として、平成27年度から『まちづくり意見交換会』を開催し、さまざまなテーマを基に、活発な意見交換が行われました。

また、本年度は、市民の皆さんが主体となって、『2017 深谷市市民討議会実行委員会』を立ち上げ、9月には、『市民討議会』を開催して、市民同士でこれからのまちづくりを話し合います。

このような意見交換の場で、新たな気づきや課題解決の手段が生まれることもたくさんあります。ぜひ、さまざまな立場や世代の間に、積極的に参加していただきたいと思っています。

平成29年7月九州北部豪雨で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

ありがとうの手紙



最優秀賞 一般の部

無言の教え・おふくろへ



緑ヶ丘 保坂嘉郷 さん

分校を卒業し、山と谷、二つの集落を越えて中学校に通い始めた初夏、私は入学祝に父から贈られた万年筆を途中で失くしてしまいました。帰宅後その事をおふくろに話すと「見つけに行こう」と言って、有無を言わず、何処で落したか解らぬのを見つける誓はないと言う私を母は連れ出した。しかし集落と集落の境の夏草の中におふくろは万年筆を見つけ、私に黙って手渡した。『諦めるな』というおふくろの強烈なメッセージが聞こえ、心に刻まれ、今に残る。